

## ○木の香る都市づくり事業実績

	2019年度	2020年度	2021年度
応募件数	11	21	22
採択件数	11	21	6
実施件数	8	17	6（見込み）
主な施設用途	コワーキングスペース 学童、病院等	本屋、土産物販店、 カフェ等	事務所、福祉施設、 木育スペース等

- ・2019年度、2020年度は、1回目の募集では予算額に達さず追加募集を行い、全件を採択しました。
- ・2021年度は事業の周知が進み、1回目の募集で予算を大きく上回る応募をいただきました。

○2019年度実施 あおぞら学童保育クラブ 大村知事視察  
読売新聞 2020年12月5日（土）



木造化された「あおぞら学童保育クラブ」を視察する大村知事

## 木造学童保育効用を実感

### 知事視察 県、費用の一部補助

名古屋

県からの補助を受け、プレハブから木造2階に建て替えた名古屋市緑区の「あおぞら学童保育クラブ」を4日、大村秀章知事が視察した。施設内を見学後、大村知事は「木に囲まれ、ぬくもりのある、子育てにふさわしい環境になった」との感想を語った。

学童施設の木造化は市内さん(39)らは、プレハブ時

専任指導員の小島哲志

代と木造化後を比較、収録したビデオを通し、子どもたちの生活ぶりも紹介。「エアコンも利かない猛暑や湿度が改善された。以前は残響がひどく、つい大声になったが、今はイライラすることも減り、笑顔が増えた」などと、大村知事に木造化の効用を説明した。

名古屋市では現在、プレハブを選んだ学童施設には無償貸与されるが、木造化には特別の補助制度はなく、実現に向けた高い壁になっている。あおぞら学童では県産材の利用を促す県の「木の香る都市(まち)づくり事業」の補助金150万円を受け、建築費約6600万円の一部に充てている。小島さんらは「学童保育施設を木造化したいとの動きを応援するため、補助制度を拡充してほしい」と大村知事に要望していた。

○2021 年度木の香る都市づくり事業実施予定施設 完成イメージ図



・名古屋駅近くのオフィスビルエントランスを内装木質化。同一フロアに飲食店入居予定。



・高架下の貸事務所を木造化。壁はガラス張で歩行者等からも構造を見ることができる。